

日本養豚大学校



日本養豚大学校 2025年度 初級コース 第10期 受講生募集

「日本養豚大学校」は第一に、そこに学ぶ者が「養豚産業」の日本の社会における存在意義と責任を十分に理解し、自らの仕事に誇りをもてるような“哲学”の共有をめざして設立され、2013年9月に開校致しました。これまでに第9期生までの331人が全課程を修了し、受講生及びその経営者の皆様から高い評価を頂いております。

本校では、次代の養豚産業、そして地域社会を担う「人づくり」をめざしており、年3回のスクールを通して再生産可能な養豚経営を実践できるだけの“知恵”を発揮することができるよう、基礎から実践までの知識を教授します。

人材の育成こそが日本養豚継続発展の鍵となる！熱意ある皆様の応募をお待ちしております。

2025 年 6 月

日本養豚大学校 校長 香川 雅彦
同 運営委員長 山本 孝徳

日本養豚大学校

概 要	日本養豚大学校 校長 香川 雅彦 同 運営委員長 山本 孝徳		
主 催 団 体	一般社団法人日本養豚協会（JPPA）		
後 援	日本養豚事業協同組合	一般社団法人日本養豚開業獣医師協会（JASV）	
事 務 局	一般社団法人日本養豚協会（JPPA）		
日本養豚大学校 設 立 協 賛 特別協賛会社	日本養豚事業協同組合	フィード・ワン株式会社	日本農産工業株式会社
	日清丸紅飼料株式会社	中部飼料株式会社	有限会社ブライトピック
	有限会社コマクサファーム	有限会社マルミファーム	株式会社メンデルジャパン
日本養豚大学校 設 立 協 賛 協 賛 会 社	森久保薬品株式会社	株式会社ワイピーテック	フジ化成株式会社
	ヨシモトアグリ株式会社	株式会社ゼンケイ	MPアグロ株式会社
	株式会社ピグレッツ	共立製薬株式会社	グリーン&ウォーター株式会社

【問い合わせ先】

一般社団法人 日本養豚協会（JPPA）内 日本養豚大学校 事務局（担当：海老原）

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15 高栄ビル2階

TEL : 03-3370-5473 FAX : 03-3370-7937

E-Mail : t.ebihara@pig-pins.com

jppa.office@pig-pins.com

日本養豚大学校 初級コース第10期 募集要項

※受講生は対面式での受講となります

◆ 開 講 時 期 (予定) 天災・悪性伝染病等の影響により変更する場合があります

- ・ スクール① 2025年 9月 9日(火)～ 9月11日(木)
- ・ スクール② 2025年 11月26日(水)～ 11月28日(金)
- ・ スクール③ 2026年 2月中旬予定

※ 各スクールとも前夜に指定の宿泊場所に集合

※ スクール①～③を履修し、課題レポートを提出した者に初級コース修了証を発行します

※ 各スクールのカリキュラムについては別紙①をご参照ください

主たる講義場所

学校法人麻布獣医学園 麻布大学内

神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

JR横浜線「矢部駅」より徒歩4～5分



◆ 受 講 料

初級コース受講料 1人 187,000円(税込) 【前払い制】

※ 実習費用、講義資料および教科書代を含みます

※ 交通費および宿泊費・食費は含みません(ただし、宿泊については事務局にて一括予約)

※ 受講が確定した方には、経営者宛に受講料の請求書をお送りします

※ 1日でも参加された方への受講料の払い戻しはできません

※ 雇用保険加入各社においては、自治体の人材育成支援助成金等の活用をお薦めします。

受講料等の費用の一部を助成する制度です。

◆ 募 集 定 員

40人



◆ 受 講 要 件

- ① 就業半年以上の生産現場で働く後継者・従業員(現場で使う最低限の用語を理解できる方)
- ② 受講対象制限は設けませんが、経験年数は5年以内、年齢40歳未満の方が優先となります
- ③ 学歴不問 ただし学習意欲のある方
- ④ スクール①～③の日程をすべて受講できる方(代替受講は原則認めません)
- ⑤ 受講生が毎回持ち帰った知識や技術について、現場でのフォロー体制が取れる方
受講者のレポート類に経営者や場長が目を通し、学んだことを現場で実践できる環境を整え、併せて与えられた宿題をフォローできる体制を整えていただくこと。
- ⑥ 経営体からの複数名参加の場合、応募状況により調整いたします。

◆ 募集定員を上回った場合の受講者決定方法

参加希望者が募集定員を上回った場合には、日本養豚大学校運営委員会において受講者を決めさせていただきます。

◆ 受講における注意点

日本養豚大学校は学びの場であり、受講生は皆社会人です。社会人として節度をもった行動をお願いします。勉強の妨げや不快な思いをさせるなど周りに著しく迷惑をかけること(ハラスメント等)があれば、運営委員会としては受講継続を認めないことがあります。その際は返金処理をいたしませんのでご了承下さい。

◆ 応募締切

第1締切 2025年7月15日 、第2締切 2025年8月8日

※ 所定の受講希望書(別紙②)に必要事項を全てご記入のうえ、FAX(03-3370-7937)にてJPPA事務局まで応募ください。

※ 第1締め切りの受講受入れ結果については、7月中旬に報告致します。

※ 開催期日が近づきましたら、注意事項、宿泊場所等を記載した「受講のしおり」を各スクールごとにお送りします。

日本養豚大学校 初級コース カリキュラム

※調整中のため、過去の講義内容を記載しています

スクール① 9月9日～11日

※講義場所：麻布大学

第1日目	開講式	第2日目	第3日目
① 産業	養豚産業の社会的責任と役割	⑦ 管理	⑬ 繁殖
② 産業	養豚の哲学（若者に伝えたいこと）	⑧ 繁殖	⑭ 繁殖
③ 産業	養豚経営の基本 -良い豚・良い餌・良い管理-	⑨ 繁殖	⑮ 繁殖
④ 衛生	バイオセキュリティの意義と実践	⑩ 実習	⑯ 実習
⑤ 管理	豚の声を聴き体温を感じる管理	⑪ 実習	⑰ 実習
⑥ 管理	養豚の仕事とベンチマーキング	⑫	⑱
◆	オリエンテーション	グループミーティング 課題作業	グループミーティング 課題発表

スクール② 11月26日～28日

※講義場所：麻布大学

第1日目	第2日目	第3日目
①	⑦ 衛生・管理	⑫ 管理・施設
② 衛生	農場HACCPとGAP・5S	⑬ 管理
③ 衛生・生態	⑧ 管理	⑭ 栄養・飼料
④ 衛生・管理	グループシステム入門	⑮
⑤ 衛生・管理	⑨ 衛生	⑯
⑥	⑩ 実習	⑰
	⑪	
レポート報告	養豚場におけるバイオセキュリティの基礎	豚舎における換気、環境コントロールの基礎
豚の法定伝染病とその防疫対策	⑩ 実習	養豚のふん尿処理と環境規制
豚の臓器とその役割・病気、～解剖実習を前	離乳豚の解剖	豚の栄養と飼料の基礎
繁殖部門のトラブルシューティング		グループミーティング
離乳・肥育部門のトラブルシューティング	自習・解散	課題発表
グループミーティング 課題作業		

スクール③ 2月中旬予定

※講義場所：群馬県食肉市場・全国食肉学校・麻布大学

第1日目	第2日目	第3日目
※前日集合は群馬県 群馬県会場にて （群馬県食肉市場・全国食肉学校）	⑤	⑪ 栄養・飼料
① 流通	レポート報告	⑫ 経営
・食肉	⑥ 生態・管理	⑬ 経営
② 流通	養豚におけるアニマルウェルフェアの対応	⑭ 産業
・食肉	⑦ 経営	⑮
③ 流通	生産者講演	⑯
・食肉	⑧	⑰
④ 流通	グループミーティング	⑱
・食肉	⑨ 経営	⑲
	⑩ 経営	⑳
	出荷コントロールがもたらす利益	
	⑩	
	豚肉試食（官能評価）及び懇親会	
◆	※ 相模原へ移動	修了レポート発表 修了式



日本養豚大学校 受講希望書

初級コース第10期

締切：第1締切 7月15日（優先確定）、第2締切 8月8日

↓↓↓ FAX先：03-3370-7937 ↓↓↓

【受講希望者】

氏名ふりがな				性別
受講者氏名				男性 ・ 女性
会社名				
勤務先住所 （書類送付先）	〒			
勤務連絡先	TEL：		FAX：	
受講者情報	生年月日： 年 月 日		歳	農場経験年数： 年
	担当部署：	ツナギサイズ： M・L・2L・__L		長靴サイズ： cm
	携帯電話：		メールアドレス：	
アレルギー	次のアレルギーに該当がありましたら☐及び記入下さい ☐ ラテックスアレルギー ☐ 食品アレルギー（ ）			

※受講時に保険に加入するため生年月日の記入をお願いします

【経営者情報】 ※上記と同じ項目内容の場合は「同上」と記入して下さい。

会社名				
代表者名				
住所 （書類発送先）	〒			
連絡先	TEL：		FAX：	
大学校派遣 担当者情報	担当者名：		メールアドレス：	
農場規模	母猪数：約 頭	年間出荷頭数：約 頭	従業員数： 人	

◆受講確定後について（受講が確定しましたら、確定連絡通知やしおりを送付いたします）

- 【受講中の宿泊に関して】

 - ・受講期間中の宿泊場所は事務局で手配致します。防疫の関係上、指定するホテルへ、スクール毎、前日（前泊）入りとなります。詳細は受講確定後にご案内致します。

【体調管理に関するお願い】

 - ・開講前に37.5度以上の発熱がある方及び発熱が続いている方は受講をご遠慮下さい。
 - ・その他、体調がすぐれない方は事務局までご相談下さい。

日本養豚大学校への希望（具体的に）あるいは質問などがあればご記入ください

日本養豚大学校 ご協賛のお願い

日本養豚大学校では、ご協賛をお願いしています。

我々JPPAでは実際に現場でご苦労をされている産業獣医師や生産者の実体験に基づいた“生の声”を教育の場に活かした「日本養豚大学校」を2013年に設立し、将来に向けて国内養豚産業の基盤強化を図っております。

業界を担う若者を業界を挙げて育てていきたく、何卒主旨をご理解の上、ご協賛を賜りますよう心よりお願い申し上げます。
是非ご協力をよろしくお願いいたします。

1	目的	
	我々の目指す日本養豚大学校は第一に、そこに学ぶ者が自分たちの生業とする「養豚産業」の日本の社会における存在意義と責任を十分に理解し、各自が自らの仕事に誇りを持てるような“哲学”の共有を目指します。その上で、どんな環境で、どんな豚を飼っても再生産可能な養豚経営を実践できるだけの“知恵”を発揮する為の基礎から実践までの知識を教授します。全ては、日本養豚産業の今後を明るく確固たるものにするために。	
2	ご協賛	
	1口	100,000円 (何口でも結構です)
		※テキスト等において企業名をご紹介します
3	納入先	
	みずほ銀行	新宿南口支店(店番069) 普通預金 2005082
	口座名：	シヤ)ニホンヨウトンキョウカイ ヨウトンダイガツコウ
		一般社団法人 日本養豚協会 養豚大学校